

国際高等研究所 研究プロジェクト
「設計哲学－俯瞰的価値理解に基づく人工財の創出と活用による持続可能社会を目指して」
2014年度第1回研究会プログラム

日 時：2014年9月 26日（金） 13:30～17:30
9月 27日（土） 9:30～12:30

場 所：国際高等研究所 セミナー1号室（1F）

出席者：(13人)

研究代表者	梅田 靖	東京大学大学院工学系研究科教授
参加研究者	岩田 一明	大阪大学名誉教授
	上須 道徳	大阪大学環境イノベーションデザインセンター特任准教授
**	思沁夫	大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授
	住村 欣範	大阪大学グローバルコラボレーションセンター准教授 (人間科学研究科兼任)
	服部 高宏	京都大学大学院法学研究科教授
	堀 浩一	東京大学大学院工学系研究科教授
	村田 純一	立正大学東京大学名誉教授
RA	長谷川みゆき	大阪大学大学院医学系研究科博士課程
**	スピーカー	

話題提供者（ゲストスピーカー）

田中 直 特定非営利活動法人 APEX ~適正技術でアジアをつなぐ~
代表理事

その他参加者

井上 裕太	大阪大学大学院工学研究科卒業生（現 三菱電機株式会社）
宇都宮まゆみ	大阪大学大学院人間科学研究科卒業生
土屋 和雄	国際高等研究所研究推進会議委員

趣旨

今回(初会)は、発展途上国が抱える問題を中心に討論を進める。具体的には、グローバル化と発展途上国の環境問題の特徴、影響、適正技術による新たな可能性、創造性への試みについて議論が展開できればと思う。

①思沁夫委員の話題提供では、2000年以降、モンゴルでは自動車の急増によって環境問題や生命・健康問題をはじめ、さまざまな問題が引き起こされている。地域性・歴史性とグローバル化の視点から問題を整理し、自動車普及・増加に伴う問題を理論的、実践的に考える可能性-視点を探る。

②田中直氏(特定非営利活動法人 APEX 代表理事)の話題提供では、適正技術の観点から技術のあるべき形や技術支援を通じて発展途上国と「共生=共通の未来」の社会を造りうるかなどについて報告する。

プログラム

9月 26 日 (金)

13 : 30 - 17 : 30

研究会

- ・メンバー自己紹介 (一人 10 分以内)
- ・話題提供「自動車とモンゴルの環境・社会問題について」(仮)
思沁夫 大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授
- ・討論：リサイクルの「設計」と非リサイクルの消費の間

17 : 30

懇親会 (リゾラフェリーチェにて)

9月 27 日 (土)

9 : 30 - 12 : 30

研究会

- ・話題提供「適正技術の実践から」(仮)
*田中 直
特定非営利活動法人 APEX ~適正技術でアジアをつなぐ~
- ・「適正技術」と〈共生社会〉をテーマに全体討論

<*> 招聘講演者

12 : 30

研究会終了